

平成26年 2月17日

市長記者会見資料

川崎市・公益財団法人川崎市産業振興財団

株式会社ミス

日産自動車株式会社

川崎市知的財産交流会から生まれた成果 日産自動車の特許技術を活用してミスが新製品を開発

川崎市では、公益財団法人川崎市産業振興財団と連携し、大企業の開放特許等の知的財産を中小企業に移転し、中小企業の新製品開発等を支援する「川崎市知的財産交流会」を、平成19年度より実施しており、これまで16件のマッチング成果が生まれています。

このたび株式会社ミス[代表取締役 酒井高雄、川崎市高津区]が、日産自動車株式会社[社長兼最高経営責任者（CEO）Carlos Ghosn（カルロス ゴーン）]が保有する特許技術を活用し、『部品定数供給装置』の製品化に成功しました。

なお、日産自動車の特許を活用した市内中小企業の製品開発は初めてとなります。

■ 技術概要

自動車等の生産ラインにおいて、ボルトやナットを必要な時に必要な数だけ自動的に作業者に供給する装置。ボルトの数を任意に変更することも可能で、作業者のボルトの計数の手間を省き、作業の効率化とボルトの締め忘れを防止。磁石を埋め込んだ回転盤にボルトを吸着させて、正確な数を供給するシンプルな構造により、省スペース化と低価格化を実現。



■ 製品化に至るまでの経過

平成25年7月に開催した川崎市知的財産交流会にミスが初めて参加。川崎市産業振興財団の知的財産コーディネータが間に入って行った日産自動車とのマッチング支援により、技術情報の提供を受け、同年12月に日産自動車との間で「部品定数供給装置」に関する技術（特許出願番号：特願2013-132176）の実施許諾契約を締結し、試作開発を開始。平成26年1月に製品が完成しました。

■ 技術開発の取組内容

ミスでは、日産自動車が混流生産で培ってきた技術の特許を基にして、独自に装置の試作と改良を重ねています。例えば、市販するために装置全体の簡素化によるコスト低減を実現しつつ、同時に保護カバーを設置し商品性を向上させています。更に複数の装置を一箇所で制御できる外部通信式のコントローラを新たに設け、操作性を高めました。

■ 今後の計画

今年の4月から、ミス初の自社製品として装置販売を開始します。1台あたりの販売価格は28万円（税別）を予定しており、日産自動車を始めとする自動車メーカーや、トラック・バス、建築機械、農業機械等の比較的大型の工業製品メーカーを中心に5年間で1000台の販売を目標に営業活動を進めていく計画です。

■ 企業概要 ※別紙参照（ミス、日産自動車）

川崎市経済労働局 産業政策部 企画課 小沢、木村
公益財団法人川崎市産業振興財団 産業支援部 櫻井、酒井
株式会社ミス 酒井
日産自動車株式会社 グローバルコミュニケーション本部

電話 044 (200) 2360
電話 044 (548) 4112
電話 044 (813) 7530
電話 045 (523) 5521(企業)/
5553(商品)/5520(IR)

■株式会社マイス

所在地 : 川崎市高津区宇奈根 758
代表者 : 代表取締役 酒井高雄 (さかい たかお)
事業内容 : 自動組立機・検査装置等の開発・設計・製造・組立など
資本金 : 2,000 万円
従業員数 : 4 名

■日産自動車株式会社

本社所在地 : 横浜市西区高島一丁目 1 番 1 号
代表者 : 社長兼最高経営責任者 (CEO) Carlos Ghosn (カルロス ゴーン)
事業内容 : 自動車、船舶の製造、販売および関連事業
資本金 : 6,058 億円 (2013 年 6 月末現在)
従業員数 : 単独 : 23,605 名 連結 : 160,530 名 (2013 年 6 月末現在)

<日産自動車の技術ライセンスビジネスについて>

日産自動車は、自社で開発した特許技術やノウハウなどを自社利用のみに留まらず、多くの分野で利用促進する取り組みを通し、技術の発展に寄与する活動を進めています。

これまでの実績では、日産車に採用している、細かな擦り傷が時間の経過により復元し、綺麗な塗装面を長く保つことができるという優れた塗装技術「スクラッチシールド®」や、高級車に採用している人工皮革「ソフィレス®」などをライセンス供与しており、他企業にて商品化、販売されています。

今回の「部品定数供給技術」のライセンス供与もこの活動の一環であり、今後も地域に根差した元気なものづくり中小企業を技術面からサポートすることを通し、より豊かな地域社会の発展に寄与していきたいと考えています。